

守山まるごと活性化 議事要旨

作成日:平成29年4月26日

作成者:小濱

会議名: 平成29年度 第1回 A 野洲川河川敷・伏流水再生プロジェクト推進会議

日時: 平成 29年 4月 25日(火) 午後7時30分～9時00分

場所: 中洲会館 2階 大ホール

出席者: 尾村、中島、津田(藤)、津田(昭)、森田(信)、森田(重)、根木山

出席者(行政): 館長、会館主事

使用資料: 次第、平成28年度実績および平成29年度計画

議題

- ・平成29年度の計画について
- ・その他
- ・次回の会議について

会議要旨

内容

●あめんぼうの現状について

・トイレ

- 身障者も利用できる広さ(2メートル四方)で汲み取り式
トイレの中に手水のタンクあり※シルバーさんが水を運んでくれている
現在トイレに電気なし(明かり取りの窓があるため昼間は明るい)
トイレの施錠はしていない

[懸念事項]

- 連れ込まれるなど、犯罪に利用されても誰も気が付かない
身障者も利用できるが、中で何か緊急事態が起こっても知らせることができない
→緊急用の呼び出しボタンや回転灯が必要かもしれない

・釣り客

- 釣りをしにくる固定客がいる。
シルバーさんが午後5時に駐車場を閉めにいくと、「夜釣りをする。朝8時30分の開錠時に出るから
駐車場内に残りたい」と言っているとのこと。
駐車場内に設置している看板には「釣りはやめましょう」と書いてある

★公園内に人がいると防犯対策にもなるが、本来の公園の使い方をしてくれる人を増やしたい

●あめんぼうの管理について

年5回草刈りを行う(2回はシルバーさん、3回は地元)

①地元の草刈りについて

- ・今年度は幸津川町の有志団体、各自治会役員、行政担当課、Aプロジェクトのメンバーで行う
- ・現在使える草刈り機は3台。その内芝生刈りができるのは1台のみ。
1台で広いあめんぼうの草刈りを行うのはとても大変なので、現状を知ってもらい可能であれば
新しい機械購入の予算要求してもらおう

・行政職員や地元の人にもあめんぼうの広さや草刈りの大変さを知ってもらおう

★第1回目の草刈りは、7月1日の野洲川いかだ下りまでに行う(6月中)

②来年度からの管理団体の選定について

- ・平成29年中には管理団体を決定し、シルバーさんと協議して平成30年度の予定を決めてもらう
- ・募集は7月頃から1ヶ月間行うのはどうか。早くしないと今年中に決められない
- ・公園を利用する団体に管理してもらおうのがよい
- ・管理団体に委託料(面積に応じて算出した人件費相当分)が出る

③あめんぼうの管理に関する覚書について

5月9日の自治会長会で覚書締結の報告ができるよう、地域振興・交通政策課および
建設管理課と話している。以前の会議の(たたき案)から変更なし

(裏面に続く)

●あめんぼうの活用について

- ・イベントをできるだけあめんぼうで開催する。そのことによって、まずはあめんぼうを知ってもらうことが大切
- ・なかす夏まつりをあめんぼうで開催する案がある
 - 水・電気の確保が必要。やる前から無理、ではなく出来る方法で考えてみる
- ・キャンプやフリーマーケットなど、試験的にさまざまなイベントをやってみる
 - 公園の利用規定には宿泊や売店は禁止となっているが、事業として行うなら可能だと思う
- ・建設省などの行政や利用団体、地域住民などを巻き込んでイベントを行うと盛り上がる

決定事項	あめんぼうの管理・活用についての今年度の方針
次回以降について	・管理については平成29年度の地元3回の草刈りの時期等の検討と平行して平成30年度からの管理団体の選定を行う ・活用については試験的にさまざまなイベントの開催を検討する ・第2回会議は5月25日(木)午後8時～